

埼玉古墳群の衰退

埼玉古墳群は、5世紀後半の稲荷山古墳築造を皮切りに、日本一の規模を誇る円墳である丸墓山古墳、武蔵国最大の前方後円墳で墳長135メートルの二子山古墳と、大きな古墳が次々に築かれました。これらの古墳を築いた権力者は、武蔵国随一の力を持っていたと考えられます。

ところが、6世紀後半になるとその優位性が揺らぎ始めます。6世紀後半に築かれた將軍山古墳と鉄砲山古墳は、それぞれ墳長90メートル、112メートルの大型前方後円墳ですが、同じころ真名板に築かれた真名板高山古墳は、推定墳長約127メートルの前方後円墳で両古墳を上回っています。

真名板高山古墳は、鉄砲山古墳と同じ大仙古墳型の規格を持つ古墳です。出土した埴輪も將軍山古墳、鉄砲山古墳と同じ鴻巣市の生田塚埴輪窯のものであることから、埼玉古墳



真名板高山古墳

群と同族の権力者の墓ではないか、とも考えられています。また、真名板高山古墳に続く古墳が周辺に皆無であることから、埼玉古墳群内の一系統の権力継承から、同族連合による権力継承へと変化したとする考えも出されています。

埼玉古墳群では、6世紀末ごろに中の山古墳が築造されます。中の山古墳は墳長79.2メートルの前方後円墳で、鉄砲山古墳と比べて明確に規模が小さくなります。同じころ、小見に墳長102メートルの小見真観寺古墳が築造されており、埼玉古墳群の優位性は完全に失われてしまいます。小見真観寺古墳も前後に連なる大型古墳がないことから、強大な権力を一代限り握った権力者の墓と考えられています。この権力者が同族連合の頂点にいたのでしょうか。それとも埼玉古墳群を築いた一族に代わって権力を握ったのでしょうか。謎はまだ解明されていません。

(文化財保護課 中島洋一)

このコーナーでは、行田の歴史や名所、名物などを行田ゼリーフライキャラクターのこぜにちゃんが分かりやすく紹介します。



こぜにちゃんが行く!

ものづくり大学

「ものづくり」のスペシャリストを育成する「ものづくり大学」。日本でもトップクラスの実習施設や設備を有していて、多くの実習授業があり、民間企業で活躍した方が教員を務めるなど、社会で即戦力となる実力が身に付くまさに日本のものづくりを担う人材を育てる大学なんだ。在学学生は技能五輪全国大会で入賞したり、全日本学生フォーミュラ大会(レーシング用自動車の大大会)で好成績を挙げたりするなど、充実したキャンパスライフを送っているよ。ここでお知らせ。大学の学生食堂と図書館は市民の皆さんも利用できるんだって。家族や友だちと気軽に大学を訪れてくださいね。

今月の表紙

4月6日、古代蓮の里周辺のコースを会場に第30回行田市鉄剣マラソン大会が行われました。

ハーフの部、10キロメートルの部など5部門に3,174人のランナーが出場した他、女子マラソン元日本代表の増田明美さんがゲストランナーとして参加しました。快晴の中、ランナーたちは古代蓮の里やさきたま古墳公園など古代ロマンあふれるコースを軽快に駆け抜けていました。

- 市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)まで。
- 市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。
- 市報をCD-Rに録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)までご連絡ください。



市報ぎょうだは再生紙を使用しています